

豊根村で農業体験



「豊根村いただきファーム」プロジェクト!

農業体験を通して、地域の魅力を発信し、人と人をつなげることで、豊根村や奥三河を盛り上げていくプロジェクトです!



愛知県をはじめ、岐阜県や三重県など、東海地方を中心にコンサートや色々なイベントを幅広く手掛ける会社「株式会社サンデー フォークプロモーション」が中心となってプロジェクトを運営し、地元自治体である豊根村と、愛知大学が協力しています。

年4回の農業体験

参加者は「田んぼのオーナー」となり、春の田植えから秋の収穫まで、一年を通じて豊根村で「米作り」を体験します。都市部の人たちに、四季折々の豊根村の美しい自然や、澄んだ空気と水にふれてもらい、「田舎暮らし」の魅力を知ってもらいます。慣れない農作業を地元の住民がサポートすることで、参加者との交流が生まれ、豊根村に親しみを持ってもらうことも目的の一つです。

春

田植え

5月上旬



田植え作業は機械で行うのではなく、田んぼの泥に足をとられながら、手作業で苗を一本一本つめて植えていきます。水の冷たさ、土の感触、田んぼのにおい、参加者にとっては全てが新鮮な感動です。



田んぼの仕組みや田植えの方法など、米作りに関する知識を教えてください。

夏

草刈り

6月中旬頃

ぐんぐん育つ稲と同じように、雑草も育ってしまうのがこの季節。稲の成長を妨げる雑草を刈ることは米作りにおいて大切な作業です。カエルやアメンボ、その他様々な生き物との遭遇も農業体験の楽しさです。



地域の美味しいものを食べられるのも魅力

秋

稲刈り

9月中旬頃



秋は収穫の季節です。大切に育て見守ってきた稲を、田植え同様、機械に頼ることなく自らの手で刈り取ります。刈り取った後は、昔ながらの「はざかけ」と呼ばれる方法で稲を乾燥させます。



「はざかけ」の作業風景。乾燥させることで米の旨味が増し、長期保存が可能になります。

収穫祭

11月中旬頃



プロジェクトの最後を飾るのは、「収穫祭」です。自分たちで育てた米はもちろん、豊根村の食材をふんだんに使った料理を、みんなで一緒に味わいます。食べること以外にも、村の人たちとの交流やコンサートなども開かれ、プロジェクトの最終日を楽しみます。



農業体験は、秋の収穫祭をもって終了しますが、いただきファームの活動はこれからも続いています。愛知県で最も高い場所にある豊根村の美しい自然と、アットホームな村の人たちによって、奥三河に興味を持ち、好きになってくれる人たちがこれからも増えていくことでしょう。